

環境アセスメント学会生態系研究部会第15回定例会・エコトピア科学講演会
第2回生物多様性と経済に関する政策研究会

テーマ：「生物多様性オフセットとは？ CBD/COP10 を前にその国際動向を学ぶ」

日時：2009年12月21日（月）15時30分～18時00分（2.5時間）

場所：名古屋大学 IB 電子情報館 011 会議室（100人収容）

（地下鉄名城線名古屋大学駅 3番出口より徒歩1分）

趣 旨

2010年10月に開催される「生物多様性条約第10回締約国会議」（COP10）に向けて、本講演会では生物多様性の保全方法の一つとして国内外で関心が高まっている「生物多様性オフセット」に着目し、環境アセスメント及び環境政策における経済的手法の観点からの国際動向や今後の展開方法などについて議論する。

プログラム

■ 15:30～15:35（5分）

開会挨拶： 名古屋大学エコトピア科学研究所 教授 田原 譲

■ 15:35～16:20（45分）

講演1：「環境アセスメントの観点からの生物多様性オフセット」

東京都市大学環境情報学部 准教授 田中章

■ 16:20～17:05（45分）

講演2：「環境政策の観点からの生物多様性オフセット」

名古屋大学エコトピア科学研究所 教授 林希一郎

■ 17:05～18:00（55分）

質疑応答&ディスカッション

- 主催：環境アセスメント学会生態系部会、名古屋大学エコトピア科学研究所、生物多様性と経済に関する政策研究会
- 共催：環境省中部地方事務所、中部環境パートナーシップオフィス
- 後援：愛知県、名古屋市

※本シンポジウムは「生物多様性条約第10回締約国会議」（COP10）のパートナーシップ事業として認定されています。

<申し込み>

- ・ 参加費は無料です。参加をご希望される方は、以下の電子メールアドレスまで、お名前、ご所属、メールアドレスを12月17日(水)までにご連絡ください。なお、定員に限りがありますので、人数オーバーの場合は抽選にさせていただく場合がありますので予めご了承ください。

問い合わせ：名古屋大学エコトピア科学研究所 教授 林希一郎
申し込み先：名古屋大学エコトピア科学研究所 特任助教 伊東英幸
E-mail: itohideyuki@esi.nagoya-u.ac.jp